

中国の霊獣百態



2015年

10/1(木) ▶ 11/30(月)

【会場】3階企画展示室
 【開館時間】9:30~16:30(入館は16:00まで)
 【休館日】10月6日・13日・20日 11月4日・10日・17日・24日
 【入館料】大人400円 団体300円(20名以上)
 小・中学生200円(学校単位の団体は無料・事前申込が必要)

【関西文化の日】11月14日(土)・15日(日) 入館無料

世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM
 〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250
 TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721
 URL <http://www.sankokan.jp/>

天理大学附属
天理参考館
ウェブサイト



中国の霊獣百態

古代、中国の神話に登場する吉兆の動物は霊獣^{れいじゅう}とよばれました。またそれは権力を誇示する為政者^{せいせいしや}のものであり、優れた支配者の時代に出現するといわれます。その代表格が天空の方位を司る四神^{つかざ}でしょう。東の青竜^{せいりゅう}・南の朱雀^{すざく}・西の白虎^{びやくこ}・北の玄武^{げんぶ}は一度は耳にしたことがあると思います。霊獣には「亀」「虎」など実在する動物もありますが、その多くは想像上の動物であり、古来よりめでたい動物とされてきました。中国ではめでたいことを「瑞^{ずい}」という字を当てて呼ぶことから、霊獣を「瑞獣^{ずいじゅう}」とも呼んでいます。

中国のモノに表現された特異な動物には、霊獣のほかに庶民の願いを叶えてくれる吉祥獣^{きしやうじゅう}もありますが、悪神である魔獣^{まじゅう}もいます。今回の企画展ではこれらも含めて「霊獣」として一堂に展覧します。

時代と共に変化する霊獣の表現をご覧頂き、モノに込められた人々の思いを感じ取って頂ければ幸いです。



麒麟画像石/唐/高さ41.8cm



灰陶彩画辟邪/六朝/高さ30.5cm



灰陶彩画辟邪/六朝/高さ29.0cm



灰陶羊/六朝/高さ16.0cm

【関連イベント】

◆参考館フォーラム

「モノと図像から探る怪異・妖怪の世界 in 参考館」

日時：10月3日(土) 13:30～

講演者：

小田木治太郎 氏(天理大学准教授)「中国古代の怪獣—万里の長城の内と外—」
齊藤 純 氏(天理大学教授)「大蛇と法螺貝—天変地異の原因として—」
安井 真奈美 氏(天理大学教授)「うぶめと姑獲鳥—怪異のイメージを追って—」

会場：研修室

定員：100名/当日先着順

◆トーク・サンコーカン(公開講演会)

第240回「中国の霊獣—企画展にあわせて—」

日時：10月24日(土) 13:30～

講師：太田 三喜(当館学芸員)

会場：研修室

定員：100名/当日先着順

第241回「日本の霊獣—蹴鞠の精や疱瘡神の化身など—」

日時：11月28日(土) 13:30～

講師：幡鎌 真理(当館学芸員)

会場：研修室

定員：100名/当日先着順

◆ギャラリートーク(展示解説)

日時：10月26日(月)、11月26日(木) いずれも13:30～

会場：3階企画展示室



加彩鎮墓獸/唐/高さ34.2cm



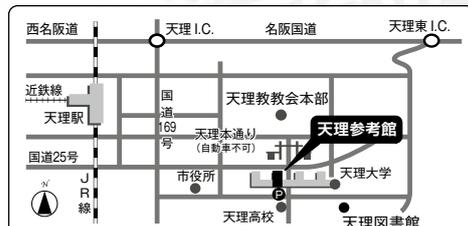
加彩鎮墓獸/唐/高さ35.4cm



加彩鎮墓獸/唐/高さ34.2cm



三彩麒麟/唐/高さ65.2cm



世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250

TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721

URL <http://www.sankokan.jp/>

アクセス：JR・近鉄天理駅下車 徒歩約20分
西名阪天理インターより南へ約3km(駐車場あり・無料)
※期間により駐車場への入場・駐車が規制される場合があります。